



北部っ子だより

豊田北部小学校だより 第7号平成30年10月12日発行 文責 教頭

10月全校の集い 校長の話

お話しします。今日は「学びの秋」にふさわしい話をします。それは皆さんが、もっともっと「きらきら輝く子」になるように、授業では友達と共に「学び合う」学級をつくってほしいということです。では「学び合う」ってどういうことでしょうか。今から6年生に劇をしてもらいます。劇には①番と②番があります。どちらが「学び合う」授業なのか、考えてみてください。では6年生お願いします。



①番 先生「みなさん、 $4+3$ はいくつですか？」

A「7です。」 B「速い！ 何ですぐわかったのかな。」 C「だって、あたりまえじゃん。」
D「あたりまえ？ どうして7になるのかな。」 E「いいのいいの。分からなくなったら、覚えればいいの。」 F「そうなのか。でも…」 G「詳しく知りたいけど、みんなに聞くのは、はずかしいな。」



②番 先生「みなさん、 $4+3$ はいくつですか？」

A「7です。」 B「速い！ 何ですぐわかったのかな。」 C「どうしてそうなるのかな。」
A「当たり前と思ったけれど、どうしてと言われると迷うなあ。」 D「じゃあ、どうしてなのか考えてみよう。」 みんな「うんうん」 E「こんな風に考えるとどう？ Oを書いて数えると、四つと三つで123456, 7！」 みんな「なるほど！」 F「これは、どう？このマークを使って、四つと三つで123456, 7！」 みんな「これも、わかりやすいね。」 G「指を使うのもいいよ。ほらっ、4本と3本で7本だよ。」 みんな「なるほど！」 C「だんだんわかってきたよ。他のもので数えていけばいいんだ。」 D「そうそう、そうしていくうちに覚えるんだ。」 みんな「そうだね。」

先生「いろいろな方法があるね。まとめてみると、どういうことかな。」

B「まとめると、別のものに変えて順に数えていく、ということだね。」

皆さんは、①番と②番のどちらが「学び合う」授業だと思いますか。そう②番ですね。
「学び合う」には、まず、安心して「分からない。」「どうしてなのかな。」「みんなで、考えてみよう。」と言えることから始まります。そして、自分が思っていることや考えていることがあったら、途中まででもよいので、友達同士で話してみます。それは、お隣さんだったり、席が離れた子であったり、全員であったり・・・。そんな話合いをすると、きっといろいろな考えがあって「そうそう、一緒」だったり、「へえ、そうか」と感心したり、「すごい」と驚いたり・・・ 先生方は、こんな皆さんの思いをしっかりと受けとめて整理してくれます。



皆さんは、こうしてみんなで、知らなかったことを色々と学んで一日を終えるのです。だれもが「友達全員で考え合って、楽しかった。」と感じられるクラス、「全員で、新しいことを学べた」と思うクラスこそ、本物の力を発揮することができるクラスです。すると、学校の門を出て家に向かう時、皆さんは学んだおみやげをその頭の中に入れて帰ることができます。朝来た自分とは違います。かしこくなって帰る、本当にきらきら輝く北部小の子になれるのです。これが「学び合う」ということです。

さあ、今日からこんな「学び合う」授業を、友達と先生と作ってください。最後に、劇をしてくれた6年生に大きな拍手をしましょう。お話を終わります

磐田地区小学校音楽科発表会

9月28日（金）、磐田市民文化会館で磐田地区小学校音楽科研究発表会が行われ、4年生が参加しました。指揮は大沼郁子教諭、曲は『お陽さまになって』です。4年生の美しく迫力ある歌声を、会場のお客様は真剣に聴き入っていました。4年生の皆さん、素晴らしい演奏をありがとうございました。

（講師の先生の講評） 素直な声で、生き生きと歌っています。語りかけるような歌詞、メロディを味わいながら表現していて、豊かな声量もあって迫力も十分です。強弱の工夫もよくされています。＜の急激なところは、もう少し控えた方が力強さは増すでしょう。太陽のような、明るく暖かな空気、言葉、心を伝えるに十分なよい合唱です。ピアノもよく合唱を支えていました。

